はじめる。つながる。ひろがる。

SAKATA VOLUNTEER CENTER

平成26年 4月 No.21

the track which

酒田市ボランティアセンターだより



発行・お問合わせ:酒田市社会福祉協議会 酒田市ボランティアセンター

★地域福祉センター内:酒田市新橋 2-1-19 TEL 0234-24-2626 FAX 0234-24-6299
★交流ひろば内(公益活動支援センター):酒田市中町 3-4-5 TEL 0234-43-8165 FAX 0234-26-5617
E-mail volunteer@sakata-shakyo.or.jp *窓口・お電話は平日 8:30~17:15 です

しりあう◎つながる◎何か生まれる!! かもしれない!?



ボランティア・市民活動 交流会を開催しました



会のおわりは全員で三本じめ! 2/22 地域福祉センターにて

2月22日(土)、「しりあう(^)つながる(^)何か生まれる!! かもしれない交流会~ボランティア・市民活動交流会~」が行われました。

同じ地域で活動しているみなさんや、これからボランティアを始めてみたい方たちが交流する場をつくりたいと、ボランティアセンター運営委員会とセンタースタッフがいっしょに企画しました。

当日は約50人が参加。第1部はPRタイム。約20のグループが活動を紹介しました。第2部は立食スタイルの交流タイム。はじめましてのご挨拶、それぞれの活動紹介、情報交換などなど、会場はたくさんの会話と笑いが飛びかい活気にあふれていました。

参加者からの感想

- 本当につながりが生まれて嬉しかったです。 次回の開催が待ち遠しいですね(^o^) (酒田方言あそび研究会 齋藤健太郎さん)
- 素晴らしい企画です。また開催してください。 (酒田青年会議所 櫛引柳一さん)
- それぞれに自分たちの置かれた地域の中で、 できる限りの活動をしていることに感銘を 受けました。(センター運営委員 櫻田常夫)

この日の出会いが、すぐにではなくても、いつか何か に結び付いたらいいなあと思っています。

4月からのボランティアセンタースタッフです

よるしくおねがいします



所長 久松 勝郎 (ひさまつ かつろう) 地域福祉センター内

副所長 碇谷 勉 (いかりや つとむ) 地域福祉センター内





髙橋 祥子 (たかはし しょうこ) 地域福祉センター内

佐藤 可奈 (さとう かな) 交流ひろば内





伊藤 貴子 (いとう たかこ) 交流ひろば内

ボランティアなどのご相談はどうどお気軽にお声をかけてください

*不在の場合もありますので、いらっしゃる時にはご連絡いただけると助かります(連絡先は上記に)

2年間の議論を経て今後の在り方「提言」

第3回ボランティアセンター運営委員会から

酒田市ボランティアセンターには2年前の発足以来、澤邉 みさ子委員長(東北公益文科大学・地域共創センター セン ター長)以下 10 名の委員からなる運営委員会が設置されて います。委員会は、ボランティア、NPO関係団体、福祉、 商工、住民自治、教育、行政機関など異なる分野、立場から 構成されています。



3月28日(金)、ボランティア運営委員会から の提言が、阿部会長に

これまでも、それぞれの立場、観点から幅広くボランティア

活動についての方策やご意見を頂いてきました。特に今年度第 3 回の運営委員会では、委員長、西村副委員長 を中心に、これからのボランティアセンターの運営に関して「要望書」という形で阿部社協会長に対し提案がな されています。

その内容は、酒田市におけるボランティア、公益活動をめぐる背景、現状、課題を見据え、ボランティア支援 組織の一本化や名称の統一、センター機能の設置場所と組織の在り方、社会福祉協議会や市の関与の在り方につ いてなど、多岐にわたっています。今後はこの「要望書」を受け、これまでの総括も含め、より良いボランティ アセンターの在り方について、内部で検討を深め、市とも協議しながら方向性を打ち出していくことになります。

庄内地域広げようボランティ Pの輪連絡会議 研修会報告!!

3月16日(日)公益研修セ ンターにて、庄内地域広げよう ボランティアの輪連絡会議研修会 『つながりへの第一歩をつくる! ワークショップ・ファシリテーター講 座1』が開催されました。

参加者は、福祉やまちづくりなどに 関わっている、「会議などの話し合いの 場を和やかにしたい」という方たち。

話し合いました。

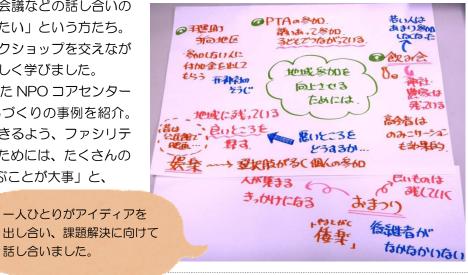
グループごとに、自己紹介やワークショップを交えなが ら、ファシリテーターについて楽しく学びました。

講師の吉田理紗さん(NPO あきた NPO コアセンター 理事)は、秋田県五城目町のまちづくりの事例を紹介。 「ワークショップが効果を発揮できるよう、ファシリテ 一タ一という進行役が必要。そのためには、たくさんの 事例やワークショップの手法を学ぶことが大事」と、

一人ひとりが意見を出し合え るような環境を整えること が必要だと語っていました。

一人ひとりがアイディアを









【手話奉仕員養成講座】

日時:5月13日~2月末(予定) 毎週火曜日(全40回)

午後 19:00~21:00

場所:総合文化センター

対象:手話に興味がある方、手話を学びたい方

初めての方も参加できます!

費用:3,240円 テキスト(DVD付き)代

※申込み受け付け期間

4月16日(水)~4月30日(水)

【ステップアップ講座】

平成25年度までに酒田市中級手話教室を修了した方、または同等の手話能力のある方のための、ステップアップ講座です。

日時:5月10日~9月27日の土曜日(全20回)

午前10時~12時 **場所**:地域福祉センター

費用:1,000円(資料代)

※申込み受け付け期間

4月16日(水)~5月7日(水)

申込み、お問い合わせは 酒田市ボランティアセンターまで

(酒田市交流ひろば内、受付時間 平日8:30~17:15)TEL:0234-43-8165 FAX:0234-26-5617

E-mail:volunteer@sakata-shakyo.or.jp



会話できると、

決意も新たに大震災追悼の集り



参加者全員でふるさとを合唱し復興を誓いあった

去る3月9日、地域福祉センターにて、酒田市、酒田市社協の共催で「東日本大震災追悼の集い」が開催されました。それぞれが、あの時、3.11を思い起こし黙とうをした後、復興に向け決意を新たにしました。

式典の後、被災地支援活動をしている「フクシマの子どもの未来を守る家」「鳥海やわた観光㈱」「NPO法人ひらた里山の会」からそれぞれの取り組みについての発表と、ハミングバーズ・チームオーマチーノの合唱があり、「ふるさと」を参加者みんなで歌い交流を深めあいました。

中町に復興を応援する光を灯しました~3年目のキャンドルナイト~

3月11日、今年も酒田市中町にて「キャンドルナイト」が開催されました。生涯学習施設里仁館が、復興を応援するために酒田でキャンドルを灯し被災地に祈りを届けようと企画しました。ボランティアセンターでは、ボランティアのみなさんといっしょに灯ろうを作り、参加しました。



祈りをこめて作りました↓ボランティアのみなさんが

灯ろうづくりには、酒田市職員労働組合、絵手紙ボランティアほほえみ会、琢成コミ振女性の会、広野絵手紙教室、酒田西高校、そのほか個人のボランティアのみなさんなど、たくさんの方にご参加いただきました。 ありがとうございました。



PR カードのご紹介

「しりあう©つながる©何か生まれる!!かもしれない!? 交流会~ボランティア・市民活動交流会~」(1面記 事)に参加したグループからのPRです。

書かれた内容を手書きのままご紹介します。

*グループに興味のある方は、ボランティアセン ターまでどうぞお問い合わせください!

NPO法人 みなと研究会

ハタハタ供金活動。サクラマス 魚醬つ"くり、主菜場付全場 左额含学习と(又取为到人2" 1)30 NPO升為上在科斯食、H

大道芸サークル路地裏芸人'S 佐藤信洋さん

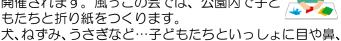
在内に突顔と元気をの、をテ 浅値かしています。 どなちでもしつじみなししずからのスター人なので 必ずできます。サークル こ、依頼もせでひるります

クシマの子どもの未来を守る家

多くの方文にての活動の内容 失いて頂けたるまりがないと考えて 大ります。定期的行気強念などでも は、となってまりますので、貧しくはお問いくれてな

酒田市子どもまつり 風っこの会 ボランティア募集!

平成 26 年度子どもまつりが日和山公園で 開催されます。風っこの会では、公園内で子ど もたちと折り紙をつくります。



口をつけるお手伝いを募集しております。 ぜひ、ご協力のほどよろしくお願いします。

★日時:平成26年5月5日(月)10:00~12:00

★場所:日和山公園内

★問い合わせ 風っこの会 宍戸

TEL: 0234-33-6540 携帯: 090-2365-4253

※申込み締め切り 4月20日(日)まで

みずほ教育福祉財団

「老後を豊かにするボランティア活動資金」助成!

高齢者を対象とした、地域に根ざしたボランティア活動 に使用される、用具・機器類の取得資金を助成します。 具体的な対象グループ、対象活動などの詳細は、下記の ホームページでご覧ください。

★受付期間:平成26年5月23日(金)まで ★URL:みずほ教育福祉財団 福祉事業部

http://www.mizuho-ewf.or.ip/index.html

★ボランティア活動保険の補償期間は年度末 (3月31日) までです。4月以降も必要な方は、

『酒田市ボランティアセンターだより』はこちらに置かせていただいています。

市内コミセン・市役所・市役所支所・交流ひろば・文化センター・産業会館・親子スポーツ会館・武道館・東北公益 文科大学・酒田看護専門学校・産業技術短大庄内校・michelle・ファミリーマート本間美術館前店・ローソン酒田北新橋店 みずほ八文字屋・ドトールコーヒーショップエッソ酒田店・モスバーガー酒田南店・庄内障害者就業・生活支援センター にこっと広場・パートナーシップオフィス・ヤマト運輸八幡センター・山茶花・いなかフェ白山・仏壇のさとう・酒田市社協

小澤征爾の師である指揮者の斎藤秀雄は、彼に「型に入 り型をいでよ」と教えたという。

一方、山形県が生んだ「山びこ学校・綴り方教室」の 無着成恭は、父にこう教えられたという。大人になる前 に「型から入れ」。人間国宝などといわれる人は若いとき に「空から入れ」。人間国宝なことがりれる人は名いこさに徹底的に型を学び、その型を破り、型を突き破っていったのだ、と。型を学んだ人間だけが「型破り」の域に到達するのだ、と。まったく型を学んだことがないと「型なし」人間になってしまう。さらに型を身に着けたが、中途半端でとどまった場合は「型どおり」の人間になってします。 てしまう、と。・・・・はあ。

「八方破れ・型なし」凡人の悲しい遠吠えとして、なぜか最後の回にポツリこの箴言を思い出した。

2年間ボラセンではお世話になりました。バイキンマンはどこかであなたを見守っています。 ハッピー・リタイアメント。(バイキンマン)

このところ「ボランティ アをしたい」というご相談 がドドドドっと続き、いろ んな方にお会いできて、と ても嬉しく思っています。

4月から交流ひろば担当 になりました。またいろん な方にお会いできるのを楽 しみにしています!よろし くお願いします!

わくわく わくわく ?

(伊藤貴子) (

ボランティアセンターで は、ボランティアに関するご 相談を受け付けております。 「どういう活動があるんだろ う…?」「こういうボランティ アをしてみたい!」などなど、 気軽に聞いてくださいね。

ただ、直接いらっしゃる場 合は、職員が不在ということ もあり得ますので、事前に電 話くださると嬉しいです。(交 流ひろば勤務なので、ときど き社協や市役所に出かけてい たりします) 皆さんの相談 待ってま~す♪(可奈)

